



防災訓練取材してきました!



八都県市合同防災訓練：はちとけんしごうどうぼうさいくんれん

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、さいたま市、千葉市の首都機能が集中する八都県市では、大地震が起きた際の被害を最小限に食い止めるため、毎年大規模な防災訓練を実施しています。第30回を迎えた今年は、横浜市では栄区が会場となり、8月30日から9月5日までの防災週間に区内各地で訓練が実施されました。その中で、災害ボランティアセンター^{*1}の開設訓練と物資の集配訓練、障がいのある生徒たちの避難訓練の様子をお伝えします。

災害ボランティアセンター開設訓練

横浜栄・防災ボランティアネットワーク^{*2}（略称 栄・防災ボラネット）、栄区役所、栄区社協が合同で、災害ボランティアセンターの開設訓練と、物資の集配訓練をしました。

隣接する上郷小学校地域防災拠点の訓練に参加した方々のうち、約200名が、集配訓練の様子と災害ボランティアセンターを見学しました。



ボランティアの受け入れ

栄・防災ボラネット 宇都宮さんからのメッセージ



今回の訓練では物資集配拠点にボランティアセンターを開設するという得難い経験をすることができました。4回目の開設訓練でメンバーの皆さんのスムーズな臨機応変の動きは災害時の混乱の中でも十分にその役割を果たすことができると確信しました。災害時は地域の皆さん同士の連携が大切です、普段からの助け合いでかたい絆を結び、地域の防災力を高めてください。私たちも「命を守る防災講座」などでそのお手伝いをしていきます。

障がいのある児童・生徒たちの避難訓練

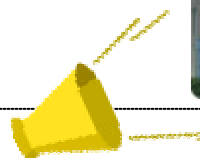
桂台中学校、特別避難場所「訪問の家 朋」への避難訓練に、本郷特別支援学校に通う児童・生徒たちとその家族37名、そして教員7名の44名が参加しました。学校から訓練会場である桂台中学校へは、歩きとバスを組み合わせ約1時間。自宅から会場に避難したグループと合流し、特別避難場所^{*3}「訪問の家 朋」へ避難しました。

保護者の方からのメッセージ



日常的に支援を必要としている子どもたちが、実際の災害時にどうなってしまうのか？不安でいっぱいの中、少しでも実際の災害時に役に立つためのヒントをみつけられたら…。そんな思いで参加させていただきました。

そして、実際に体験してみたことで具体的な課題も明確になりました。今回の体験を活かし、今後も関係諸機関の方々にご協力をいただきながら、学校で、家庭で、地域で取り組んでいける事を一緒に考えていきたいと思っています。体験させていただき、ありがとうございました。



地元の参加者に向けて、子どもたちのことを知ってもらうための自己紹介、災害用バンダナ、コミュニケーションボードのPR^{*4}をしました。

【上記についてのお問合せは】

栄区社会福祉協議会

〒247-0005 栄区桂町 279-29

ピアハッピー栄（栄区福祉保健活動拠点）内

キーワードで知ろう 防災への取り組み

* 1 災害ボランティアセンターって？

大災害が起きると、区災害対策本部が区社協に災害ボランティアセンター開設を要請します。災害時には栄図書館に開設される予定です。

行政と民間機関が連携をしながら、各地から来る一般のボランティアと被災者や要援護者からのニーズ（依頼）をコーディネートしたり、ニーズ情報などを外部に発信します。

* 2 横浜栄・防災ボランティアネットワーク 略称 栄・防災ボラネット って？

平成16年の台風による洪水被害支援のボランティア活動をきっかけに誕生し、平成18年に設立されたボランティアグループです。栄区内のボランティア団体や個人ボランティア、企業や地域団体、福祉施設が参加し、区、区社協が運営に協力しています。

活動の目的は 災害ボランティアセンターの開設と運営に参画・協力 平常時から、会員相互の防災意識向上の研修・訓練・情報システムを構築 防災関係機関や、自治会・町内会、地域防災拠点運営委員会などとの交流と情報交換・連携協力 災害時のボランティア活動を支援するコーディネーターの育成 他区の防災ボラネットとの連携・協力体制を構築 など。

電気紙芝居やカードゲームを取り入れるなど、参加する対象に合わせた地域向けの出前講座は大好評です。詳しくはホームページを参照してください。

インターネットで検索 栄・防災ボラネット

検索

* 3 特別避難場所って？

高齢者や障がいのある人などで、地域防災拠点での避難生活が難しい場合は、特別避難場所へ移動します。避難生活に特別な配慮を必要とする“要援護者”のための、二次的避難場所です(地域ケアプラザや特別養護老人ホームなど)。援護の必要性の高い人を優先して受け入れます。

* 4 障がいのあるわたしたちのこと、知ってください、応援してください

人は誰でも、住み慣れた街で暮らすことを望んでいます。障がい児・者が安心して地域で暮らすためには、地域の人たちのご理解やご協力が必要です。

障がい当事者、家族、支援者が一体となって、バンダナやコミュニケーションボード、地域のみなさんをお願いしたいことを伝えるためのチラシ、出前講座などの取り組みを進めています。

黄色のバンダナは「支援してほしい」というサインです。緑色のバンダナは「支援できる」というサインです。こうしたバンダナを身につける取り組みを進めています。

コミュニケーションボードを使ってください。

コミュニケーションが苦手な知的障がいのある人や、聴覚障がいのある人などと、周囲の人たちをつなぐ話し言葉に代わるもののひとつです。文字やことばで意思を伝えることが難しくても、ボードの絵を指して意思を伝えることができる人もいます。

のサンプルは地域防災拠点、特別避難場所に設置しています。区社協の窓口でも配布しています。

出前講座をご活用ください！

コミュニケーションボードの使い方や、知的障がい、自閉症の人たちを理解していただくため、また支援のポイントをお伝えするための「出前講座」を行っています。障がいのある人や家族、施設などの支援者のグループがお話しに出向きます。地域のみなさんと顔の見える関係を作ることもこの講座の目的です。イラストや実演を交えた30分程度のこの出前講座を、ぜひ、地域の会合や防災訓練のプログラムでご活用ください。



子育てサポートシステム

子育ての援助を受けたい利用会員のお子さんを、子育ての援助をしたい提供会員が一時的に預かる等、地域で子育てを支援するシステムです。

あなたも提供会員として地域の子育てに参加しませんか？

会員になるには

入会説明会に参加してください。

提供会員には、入会后、3日間の研修があります。

入会説明会

日程：10月16日(金)・11月20日(金)

12月17日(木)

(各回同じ内容です)

時 館：午前10時30分～12時

場 所：ピアハッピー栄

(栄区福祉保健活動拠点：栄区役所斜め向かい)

*前日までに電話又はFAXでお申込みください。

*別室での保育あり。事前にご連絡ください。

事務局・問合せ先

栄区社会福祉協議会 担当：根 岸

電 話：894-8521

FAX：892-8974

提供会員
募集！



小菅ヶ谷地域ケアプラザ (小菅ヶ谷3-32-12)

いたちまつり 2009

模擬店やイベントなど子どもから大人まで楽しめるお祭りです。

日 程：10月18日(日)

時 間：午前11時～午後2時

場 所：小菅ヶ谷地域ケアプラザ

内 容：絵本の読み聞かせ、介護予防コーナー、
メンタルヘルスコーナー、ペタンク、音楽

共 催：栄区生活支援センター

問合せ：小菅ヶ谷地域ケアプラザ

電 話：896-0471 (担当：太田)

ボランティア募集

障がい者のための作業所

みんなの開社 (中野町15-1)

自閉症や知的障がい者の通う作業所です。

曜 日：週1回以上、1日3時間以上(応相談)

時 間：午前9時～午後4時の中で可能な時間

内 容：メンバーが作業するさき織りの補助

費用弁償：交通費を含む1日1,000円

電 話：896-2381 (担当：三鬼)

イベント

パソコン村文化祭

ボランティアグループ「パソボラ横浜」の年に一度の文化祭です。会員が腕を振るい、秀作を多数展示します。ぜひ、お越しください。

日 時：10月24日(土)、25日(日)

時 間：午前10時～午後5時

(25日は、午後4時まで)

内 容：パソコン作品秀作展、スライドショー、
動画ショー、天体観測ショー、
パソコン音楽

パソコンなんでも相談会

入場無料、喫茶室を無料開放します



場 所：中野地域ケアプラザ
(中野町400-2)

問合せ：パソボラ横浜

電 話：896-1113 (不在時留守番電話対応)

「そら」からのメッセージ

今月号はそら編集委員が防災訓練の現場取材しました。「私たちの活動取材してほしい。」「私の関心のあるボランティアはこんな活動。」「そらでコレ！を取り上げてほしい。」など・・・あなたのご意見や感想をお待ちしています！